The Tokyo Tanuki Times

東京タヌキタイムズ

2014年3月号　通巻63号　毎月1日発行　購読無料

©MIYAMOTO Takumi,2014

責任編集：宮本拓海　発行：東京タヌキ探検隊！ tokyotanuki.jp

雪の日は足跡を探せ！

たいていはイヌかネコですが

(左)大型犬の足跡。2つの足跡が少しずれて残る
(中)ネコの足跡。5本指に見えるが、これは2回接地した場所が少しずれたため
(右)ネコの足跡。かなり積もった中を帰宅したらしい。写真はいずれも2014年2月、杉並区で撮影

2014年2月、東京では2回も大雪になり、積雪はいずれも25cmを超えました。雪国に行ったことのない宮本にとっては、自分史上最大の積雪量でした。

しかし、こういう時こそやるべきことがあるのです。それは足跡探しです！　雪が降っていてもとにかく出かけるのです！

足跡を学ぶ貴重な機会

残念ながら私が住んでいる近所には現在タヌキは生息していません。ですので見つかる足跡はイヌかネコばかりになってしまいますが、そういうものを見ておくことも勉強になります。

雪の日に外を出歩くイヌやネコなんているのか？と疑う方はいるでしょうが、イヌを飼っている方ならご存知のように、あの大雪の中でもイヌの散歩に出かける人はいるのです。また、ねぐらに帰り損ねたネコがやむを得ず雪中行軍をすることもあります。

足跡を探すなら、ある程度雪が積もった頃合いがいいでしょう。足跡がはっきりと残るからです。あまり積もりすぎると足跡が雪の中の深くになってわかりにくいです。天気が回復して雪が溶け出してしまうと足跡もすぐに消えてしまいます。

これまでにも紹介してきましたが、イヌもネコも足跡は4本指です。違いはツメ跡の有無で、ツメ跡があるのがイヌ、無いのがネコです。ネコは歩く時にはツメを引っ込めるのでツメ跡は残りません。

タヌキの足跡はイヌにそっくりで、区別するのは難しいでしょう。サイズは小型犬と同じです。大型犬の足跡は明らかに大きいのですぐにわかります。

足跡の並び方でもイヌとネコでは違います。ネコの足跡はほぼ一直線に並びます。前足と後足が同じ場所に接地する、つまり同じ場所を2回ずつ踏むのも特徴です。

イヌの場合は肩幅の分だけ左右が開くことになるため、4つの足は別々の場所を踏むことになります。上左の写真のように2つの足跡が少しずれて残ることになります。

タヌキはふらふら歩き

タヌキの場合はというと、イヌに近いのですが、左右にふらふらとした足跡になることが多いようです。これは、タヌキが地面のにおいをあちこちかぎながら移動するためです。地面に昆虫など何か食べるものがないか調べながらふらふら歩いているわけです。

都会では動物の足跡を観察できる機会はそうそうありません。雪が積もった時こそ、家にこもらずにデジカメを持って外に出てみてください。

スポンサー枠

スポンサー募集中です！

全国のタヌキ、ハクビシンなどの情報を集めています。
http://tokyotanuki.jp